

JOCエリートアカデミーだより

【レスリング】 アジアカデット選手権大会

7月7日から10日までの4日間、2016年レスリングアジアカデット選手権大会がチャイニーズタイペイで開催され、南條さん(安部学院高)と鏡さん(稲付中)が、日本代表として出場しました。

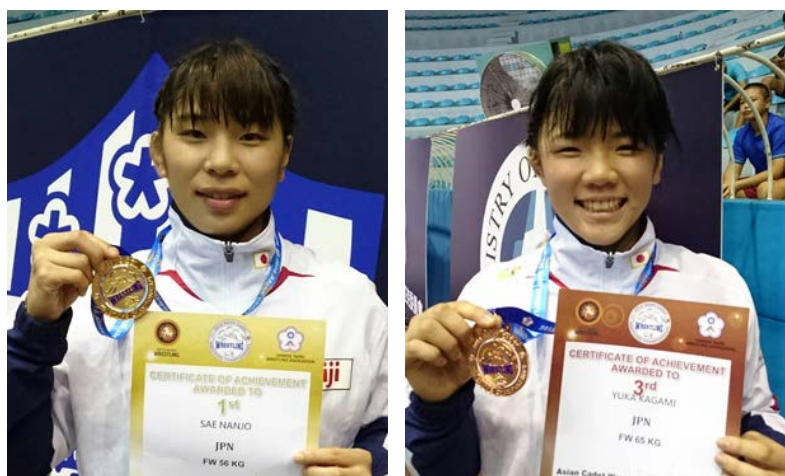
南條さんは56kg級に出場、2回戦・準決勝はテクニカルフォールで勝利して決勝に進出しました。決勝戦は日本人選手同士の対戦となりました。前半にカウンターで失点しましたが、その後焦ることなくしっかり攻め込み、4-2と逆転し優勝しました。

強いメンタルをもち、しっかり技術を出すことが出来て、ポイントを確実に重ねていけたことに成長を感じました。

65kg級に出場した鏡さんは2回戦を順当に勝利し、準決勝に進出しました。日本人選手同士の対決となった準決勝では、両者とも攻防を繰り返す中、後半で相手にコーションポイントを取られて1-1の攻守ポイントで判定負けをした。次の3位決定戦はテクニカルフォールで圧勝し、3位となり銅メダルを獲得しました。

鏡さんにとって今大会は初めての国際大会でしたが、試合内容からは成長の跡が見られました。

また、2人の活躍により、日本女子チームは昨年に続き団体優勝を果たしました。



【南條さん】

【鏡さん】

写真:(公財)日本レスリング協会HPより

【卓球】 香港ジュニア&カデットオープン

ITTF(国際卓球連盟)主催2016香港ジュニア&カデットオープンが香港で開催されエリートアカデミーからも6名が出場しました。今大会はジュニアの部に中国選手も参加しており、レベルの高い大会となりました。その中で、しっかりと結果を残すことができたのは大きな成果です。

竹内さんや加藤さん(帝京高)は、世界各国で開催されているITTFジュニアサーキットで毎回のように上位に入り、ランキングも上がってきています。

年間の上位ランキング選手だけが出場を認められる「ITTFジュニアサーキットファイナル」への出場権獲得が、目の前に見えてきました。

主な成績は以下の通りです。

- ・ジュニア女子シングルス 竹内:3位、
- ・ジュニア男子ダブルス 浅津:優勝、加山:3位
- ・ジュニア女子ダブルス 長崎:2位

※エリートアカデミー以外の選手とのペアで出場

- ・ジュニア女子団体 加藤・竹内:3位

※エリートアカデミー以外の選手とのチームで出場

- ・カデット男子シングルス 加山:2位
- ・カデット女子シングルス 長崎:優勝

【東京2020】

みんなのTokyo 2020 4years to Go !

7月24日(日)羽田空港第2ターミナルで「みんなのTokyo 2020 4years to Go !」というイベントが開催され、上田さん(大原学園高)と遠藤君(稲付中)の2名がゲストとして参加しました。

当日が、東京オリンピックが開催される4年前に当たる日であることから、東京都民だけでなく広く国民にオリンピックの持つ価値などを認識してもらうことを目的として開催されました。

1964年東京大会のウエイトリフティング金メダリスト・三宅義信さんや、1996年アトランタ大会のサッカー日本代表・前園真聖さん、

2004年アテネ大会の柔道金メダリスト・谷本歩実さんらが参加したほか、子どもたちが4年後への思いを込めた折り鶴を作りました。

また、ゲストによるトークショーも行なわれ二人は東京オリンピックに向けての夢などを語りました。



【遠藤君、上田さん】

平成28年度 アンチ・ドーピング研修

7月17日にアカデミー生向けのアンチ・ドーピング研修会が開催されました。この研修は教育プログラムの中の一つで、毎年定期的に行っています。

今年度は中学・高校1年と高校2・3年クラスの二つに分け、アンチ・ドーピングの考え方や観点から、「ただ勝つだけではなく、同世代や次の世代のロールモデルとなるアスリート(真のチャンピオン)」への段階的な理解・実践を目指して行いました。

初めて参加した9期生の山田君(水泳/飛込:帝京高)は「“フェア”や“アンフェア”を深く考えることはなかった。ぼくのやっている飛込は、個人競技の中でも個人の得点を競う競技なので自分のことだけを考えていた。競技に参加している選手やサポートしてくれる方々の気持ちを考えると“フェア”は必要だと思う。それによって自分

も納得がいく競技ができるアスリートになれると思う」というコメントをしていました。

この研修会を通して、「フェアプレイの精神」は勿論ですが、それ以外にもアカデミー生としてふさわしい振る舞いや言動といった「人間力」が培われることを期待しています。



【卓球】

Road to Olympic for Elite Academy

7月2日・3日、日本卓球協会は独自でJOCエリートアカデミーに所属する選手・スタッフに対しての研修「Road to Olympic for Elite Academy」を開催しました。

リオオリンピックを約1ヶ月後に控えたこの時期に開催することで、オリンピックに対する意識やモチベーションの向上を図るのが目的で、研修の最後に代々木第一体育館で開催されたリオオリンピック日本代表選手団応援イベントと絡める形で実施しました。卓球の競技特性上オリンピックの出場権獲得のために重要となる「世界ランキングシステムの研修」から、「JOCエリートアカデミーの基本的な理念」、「オリンピックズム」、「アスリートとして大切な立ち居振る舞いやマナー」、「日本卓球の歴史」、「実践的なアンチ・ドーピング」などの研修などを実施しました。

JOCエリートアカデミーからリオオリンピックの代表権を獲得することができませんでしたが、4年後の東京オリンピックでは代表権を獲得しメダルを獲得できるように挑戦を続けていきます。

研修の内容と講師は以下の通り。

- ・世界ランキングシステムについて(広報情報戦略担当:須賀健二氏)
- ・JOCエリートアカデミーの目指すところ(専務理事兼強化本部長:星野一朗氏)
- ・アスリートとして大切なこと(副会長:前原正浩氏)
- ・日本卓球の歴史、若者に引き継ぐこと(名誉副会長:木村興治氏)
- ・アンチドーピングについて(スポーツ医・科学委員会委員長:松尾史朗氏)
- ・スタッフ向け研修(JOCエリートアカデミー総監督:宮崎義仁氏)

文:卓球コーチングスタッフ 渡邊 隆司



【主な大会予定】

【レスリング】

◆インターハイ

- ・参加者:阿部、梅林、乙黒、南條、須崎
- ・日程:8/2-5
- ・会場:東広島運動公演(広島)

◆全国高校生グレコローマン選手権

- ・参加者:阿部、梅林、榊
- ・日程:8/17-19
- ・会場:金岡公園体育館(大阪)

【卓球】

◆全国中学校卓球大会

- ・参加者:宇田、加山、柏、張本、長崎
- ・日程:8/21-24
- ・会場:高岡市竹平記念体育館(富山)

◆ワールドツアーチェコオープン

- ・参加者:龍崎、緒方、宇田、張本
- ・日程:8/31-9/4
- ・会場:オロモウツ(チェコ)

【水泳/飛込】

◆インターハイ

- ・参加者:伊藤、山田、金戸
- ・日程:8/17-20
- ・会場:緑町公園屋内競技場(広島)

◆全国中学校水泳競技大会

- ・参加者:遠藤、近藤
- ・日程:8/17-19
- ・会場:ダイエープロビスフェニックスプール(新潟)

◆全国JOCジュニアオリンピック

夏季水泳競技大会

- ・参加者:伊藤、山田、遠藤、金戸、近藤
- ・日程:8/22-25
- ・会場:大阪プール(大阪)

【ライフル射撃】

◆東アジアユースエアガン大会

- ・参加者:清水、上田
- ・日程:8/22-26
- ・会場:仁川(韓国)

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356